

# 群馬県感染症発生動向調査情報（週報） 【富岡保健所Ver.】

令和5年第21週（令和5年5月22日～5月28日）

令和5年6月6日

富岡保健所

## ★梅毒が全国的に増加しており、群馬県内でも急増しております★

梅毒について、群馬県では2022年に141件の報告がありました。これは直近10年間で最多の報告数になります。**今年に入っても第21週時点で66件の報告があり、過去最多となった昨年を上回るペースとなっています。**症状が当てはまる方は医療機関（泌尿器科/婦人科）の受診をオススメします。症状はないけど気になる性的接触があった場合には、最寄りの保健所にご相談ください。

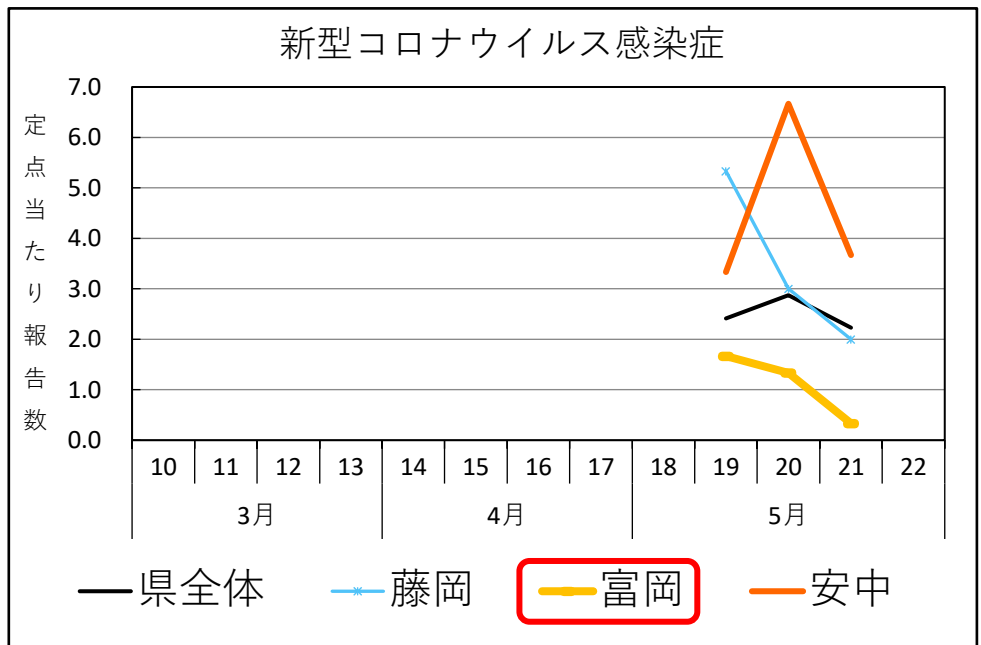
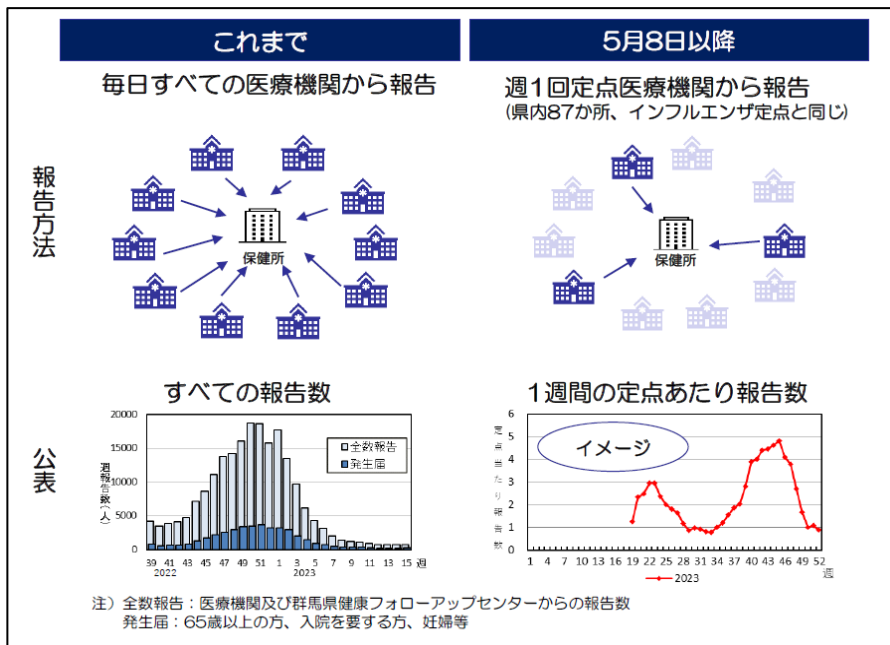
### 梅毒とは～梅毒トレポネーマ（*Treponema pallidum*）～

- 梅毒トレポネーマという病原菌を原因とする性感染症であり、性的接触などで感染します。
- ・感染後数週間経過してから、症状が出てきます。病期により様々な症状が出たり、消えたりします。
- ・感染から約1ヶ月後に**病原体が感染した部位（生殖器、口、肛門、皮膚）にできものやただれが現れます（1期梅毒）。**
- ・この病変部に病原体が存在するため、**生殖器同士の接触だけでなく、オーラルセックス、キスなどによっても感染することがあります。**
- ・感染から1～3ヶ月経過すると、**手のひらや足の裏を含めて全身に皮疹が出現したり、リンパ節の腫れや発熱などが現れます（2期梅毒）。**
- 早期治療で完治可能ですが、治療が遅れると重大な後遺症が残ることがあります。また、妊婦が感染すると胎盤を通して胎児に感染します。



## ★新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが**定点把握疾患**に変わりました★

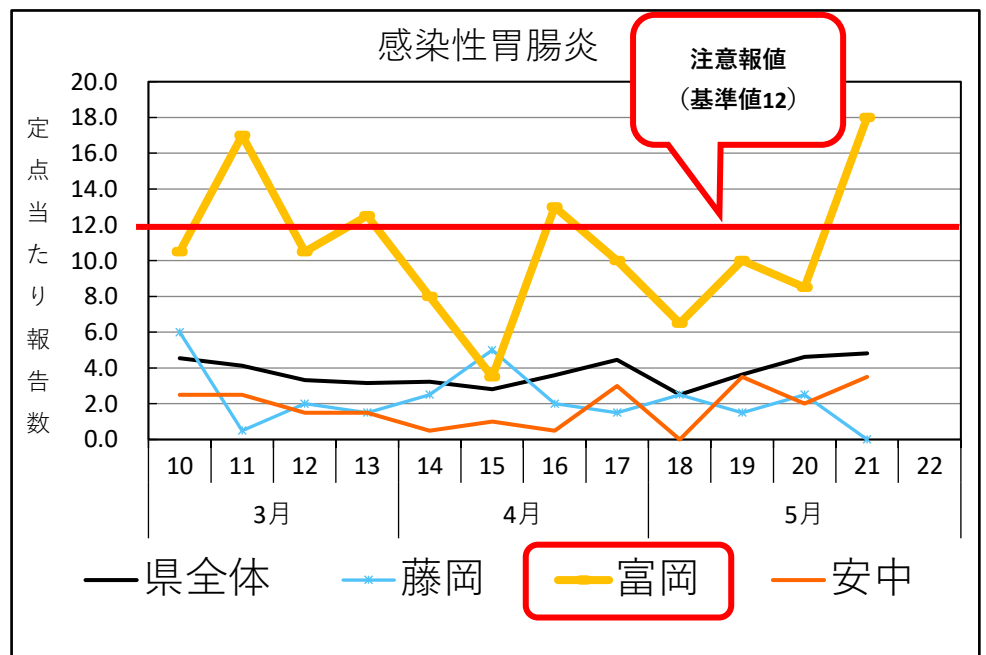
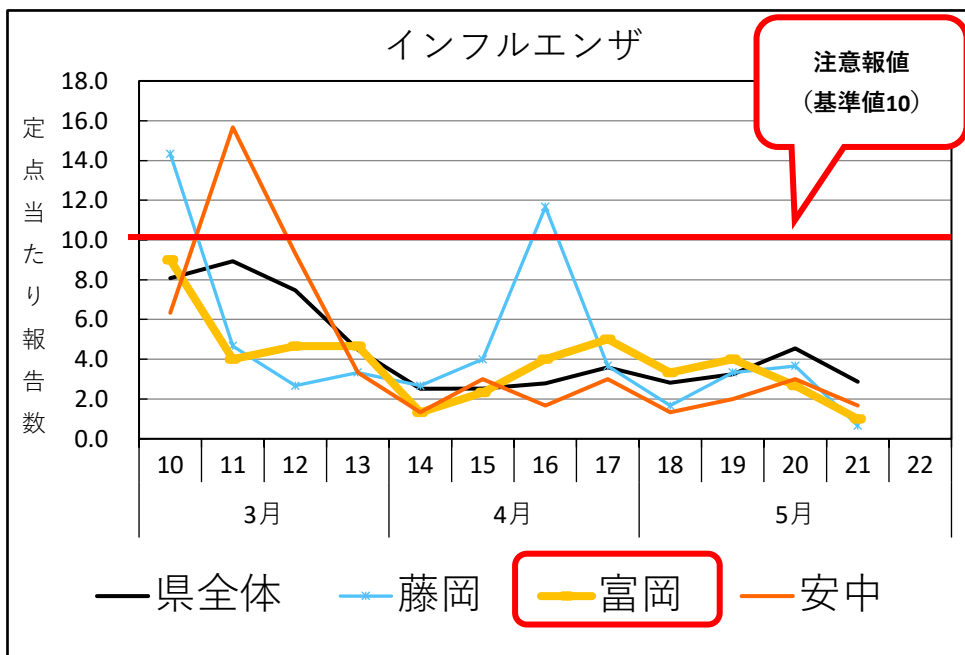
令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症患者数の報告方法が変わりました。詳しくは以下をご確認ください。



※群馬県衛生環境研究所発行 「群馬県感染症情報トピックスー（2023年、No.3）」より抜粋

### 全数報告（富岡保健所管内）

・【3類感染症】腸管出血性大腸菌感染症 1件 【4類感染症】E型肝炎 1件 【5類感染症】梅毒 1件



※感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計・作成しております

★その他の感染症の情報は群馬県ホームページで公開しています★

「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

